

第 11 回神戸国際フルートコンクール 開催決定 記者懇談会

2025年8～9月に神戸文化ホールで「第11回神戸国際フルートコンクール」を開催することが決定いたしました。つきましては、コンクール開催概要と募集要項について、コンクール運営委員会より発表させていただきます。

本コンクールは次世代を担うアーティストの発掘・育成に加え、神戸から世界に向けた更なる音楽文化の振興、国際交流の推進をめざして4年ごとに開催しており、世界の第一線で活躍するフルート奏者を数多く輩出するコンクールとしての高い評価を得ています。

この機会に、コンクールへの一層のご理解を深めていただきたく、ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

1. 記者懇談会 概要

(1) 日時

2024年5月31日(金) 16時30分～17時30分

(2) 発表者

神田 寛明／運営委員長 (NHK 交響楽団首席フルート奏者・桐朋学園大学教授)

酒井 秀明／運営委員・審査委員長 (一般社団法人日本フルート協会会長、洗足学園音楽大学客員教授)

司会 森岡めぐみ (神戸市民文化振興財団 音楽事業部長)

(3) 場所

ドルチェ楽器東京新宿店 アーティストサロン

【住所】東京都新宿区西新宿 1-13-12 西新宿昭和ビル 8F

(JR 新宿駅中央西口から地上に出て、京王プラザホテル方面へ直進していただくと新宿郵便局が右手に見えてきますので、その向かいのビル(西新宿昭和ビル)の8Fです)



(4) 内容

第11回神戸国際フルートコンクール 開催決定について、実施要項について 他

(5) 回答

記者発表の取材にお越しいただける際は、お手数ですが別紙の参加申込書を5月30日(木)までにFAXまたは、下記問い合わせ記載のEメールまで返送ください。

当日ご参加が難しい方は動画収録を後日お送りすることが可能です。別紙でご返信ください。

2. 問い合わせ先

(公財) 神戸市民文化振興財団 事業部 フルードコンクール事業課

西岡千博、坂本京子、土田菜津美 [Email: kifc@kobe-bunka.jp]

※当日の緊急連絡先は懇談会参加の方へ別途ご連絡いたします。

プロフィールと「第11回神戸国際フルートコンクール」公演概要は2ページ目に記載

<プロフィール>

神田 寛明 (運営委員長) KANDA Hiroaki



NHK 交響楽団首席フルート奏者・桐朋学園大学教授

日本フルートコンベンションコンクールおよび日本管打楽器コンクールにおいて第1位。1993年東京藝術大学卒業。1995年より1年間ウィーン国立音楽大学に留学。2007年東京藝術大学大学院修了。赤星恵一、金昌国、細川順三、ヴォルフガング・シュルツ、ハンスゲオルグ・シュマイザーの各氏に師事。THE FLUTE QUARTETのメンバー。大阪芸術大学客員教授、東京藝術大学講師としても教育活動にたずさわる。アジア・フルート連盟東京常任理事。日本フルート協会特任理事。これまでに多くのCDをリリース。2018年に音楽之友社より「上達の基本 フルード」を発表。四重奏を中心に二重奏から大編成のものまで60タイトル以上のフルードアンサンブル作品を編曲・出版している。

酒井 秀明 (運営委員/審査委員長) SAKAI Hideaki



1977年、国立音楽大学を主席で卒業。同年渡独し、北西ドイツ音楽院デトモルト、ミュンヘン国立音楽大学で研鑽を積む。石原利矩氏、パウル・マイゼン氏に師事。1979年ミュンヘン国際音楽コンクールで第3位(1位なし)入賞。1983年、ジュネーヴ国際音楽コンクールで第2位(1位なし)に入賞。1984年から1995年まで、フィルハーモニア・フンガリカの首席フルーティストを務める。1995年に帰国。以降、リサイタルや、室内楽、またコンクール審査員としても幅広く活動する。現在、洗足学園音楽大学客員教授、一般社団法人日本フルート協会会長。

<コンクール概要>

【名称】第11回神戸国際フルードコンクール

(英語表記: The 11th Kobe International Flute Competition)

【開催期日】2025年8月29日(金)～9月7日(日)

第1次審査8月29日(金)・30日(土)、9月1日(月)・2日(火)

第2次審査9月4日(木)

本選9月6日(土)

表彰式9月6日(土)

披露演奏会9月7日(日)

※予備審査(動画審査)に合格した最大40名が出場、すべての演奏は一般公開およびオンライン配信される。

【会場】神戸文化ホール 中ホール(神戸市中央区楠町4丁目2-2)

【審査員】酒井 秀明 [委員長](一般社団法人日本フルード協会会長、洗足学園音楽大学客員教授/日本)

シルヴィア・ガレッドウ(フランス国立管弦楽団首席奏者/イタリア)

ティモシー・ハッチンス(モントリオール交響楽団首席奏者/カナダ)

アンドレア・リーバークネヒト*(ミュンヘン音楽演劇大学教授/ドイツ)

アンドレア・オリバ*(サンタ・チェチーリア国立アカデミー交響楽団首席奏者/イタリア)

朴 美香(上海音楽院教授/中国)

フェリックス・レングリ(バーゼル音楽大学教授/スイス)

佐久間 由美子*(国立音楽大学・大学院客員教授/日本)

他、1名(調整中) *過去の神戸国際フルードコンクール入賞者

【応募資格】国籍に関係なく、1992年から2009年までの間に出生した者

【応募期間】2024年9月1日(日)～2024年10月31日(木)17時00分(日本時間)まで

【賞金】第1位 200万円/第2位 100万円/第3位 50万円/第4～6位 20万円

【主催】神戸国際フルードコンクール運営委員会、神戸市、公益財団法人神戸市民文化振興財団、公益社団法人日本演奏連盟、一般社団法人日本フルード協会

※詳しくはホームページをご確認ください。<https://kobe-flute.jp/>



神田 寛明（運営委員長）／日本

KANDA Hiroaki

NHK 交響楽団首席フルート奏者・桐朋学園大学教授

日本フルートコンベンションコンクールおよび日本管打楽器コンクールにおいて第 1 位。1993 年東京藝術大学卒業。1995 年より 1 年間ウィーン国立音楽大学に留学。2007 年東京藝術大学大学院修了。

赤星恵一、金昌国、細川順三、ヴォルフガング・シュルツ、ハンスゲオルグ・シュマイザーの各氏に師事。THE FLUTE QUARTET のメンバー。大阪芸術大学客員教授、東京藝術大学講師としても教育活動にたずさわる。アジア・フルート連盟東京常任理事。日本フルート協会特任理事。

これまでに多くの CD をリリース。2018 年に音楽之友社より「上達の基本 フルード」を発表。四重奏を中心に二重奏から大編成のものまで 60 タイトル以上のフルートアンサンブル作品を編曲・出版している。



酒井 秀明（運営委員／審査委員長）／日本

SAKAI Hideaki

1977 年、国立音楽大学を主席で卒業。同年渡独し、北西ドイツ音楽院デトモルト、ミュンヘン国立音楽大学で研鑽を積む。石原利矩氏、パウル・マイゼン氏に師事。1979 年ミュンヘン国際音楽コンクールで第 3 位（1 位なし）入賞。1983 年、ジュネーヴ国際音楽コンクールで第 2 位（1 位なし）に入賞。1984 年から 1995 年まで、フィルハーモニア・フンガリカの首席フルーティストを務める。1995 年に帰国。以降、リサイタルや、室内楽、またコンクール審査員としても幅広く活動する。現在、洗足学園音楽大学客員教授、一般社団法人日本フルート協会会長。



シルヴィア・ガレッドウ／イタリア

Silvia Careddu

ジュネーヴ国際音楽コンクールにて審査員全員一致で第 1 位および聴衆賞受賞。現在、フランス国立管弦楽団（パリ）とカンマーアカデミー・ポツダム（ドイツ）の首席フルート奏者。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン交響楽団で首席奏者を歴任し、ヨーロッパの主要オーケストラ（バイエルン放送響、フィルハーモニア管弦楽団、マラー室内管弦楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団）とも共演している。また、ソリストとしてヨーロッパ中の国際的に有名なオーケストラと頻りに共演し、室内楽奏者としてもヨーロッパ、日本、韓国の主要な音楽祭でも演奏。

アルバン・ベルク・アンサンブル・ウィーンの創立メンバーであり、

ドイツ・グラモフォンとデッカにて録音。
 チューリッヒ芸術大学 (ZHdK) 教授、王立音楽アカデミー (ロンドン) 客員教授、フィエゾレ音楽院 (イタリア) 客員教授。ヨーロッパ、アジア、アメリカでマスタークラスを開催するほか、主要な国際コンクールで審査委員長を務める。主なコンクールに、ジュネーブ 2014-2023、プラハ 2019、プレミオ・アバド、コンクール A.ニコレット 2014 など。



ティモシー・ハッチンス/カナダ

Timothy Hutchins

1978 年よりモントリオール交響楽団首席フルート奏者。世界的に有名なフルート奏者の一人であり聴衆や批評家からも愛され、その芸術性は常に高く評価されている。

ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団や NHK 交響楽団など著名オーケストラと共演。

28 歳のときにニューヨーク・フィルハーモニック首席フルート奏者を務める。その後 2003 年から 2004 年まで、ボストン交響楽団とピッツバーグ交響楽団でも首席奏者を務めた。シャルル・デュトワとケント・ナガノ指揮の OSM で、首席フルート奏者として、またソリストとして 70 を超えるレコーディングを行った。またソリストとして、小澤征爾、ウラディーミル・アシュケナージ、レナード・バーンスタイン指揮ボストン交響楽団、マリス・ヤンソンス指揮ピッツバーグ交響楽団、他のオーケストラとの共演など、多くのレコーディングに参加している。

主要な国際コンクールの審査員を務め、後進の指導にあたる。マギル大学で教鞭をとるほか、カナダ、アメリカ、日本、イギリス各地でマスタークラスを開講。受講者は世界中の一流オーケストラで活動しており、指導者としても演奏家としても活躍している。



アンドレア・リーバークネヒト/ドイツ

Andrea Lieberknecht

在学中にミュンヘン放送交響楽団の首席フルート奏者となった。

1991 年にケルンの WDR 交響楽団に移り、2002 年まで同オーケストラで活躍。ソリスト、室内楽奏者として、1991 年の「プラハの春」、1993 年の神戸国際フルートコンクール、コルマール、トラーパーニ、ベオグラードの室内楽コンクール、ミュンヘンの ARD コンクールなど、数多くの国際コンクールで入賞。幅広いコンサート活動に加え、ハノーファー音楽演劇大学、2011 年からはミュンヘン国立音楽大学のフルート科教授を 25 年間務める。彼女の教え子たちは、主要な国際フルートコンクールで受賞し、有名オーケストラで活躍している。



アンドレア・オリバ／イタリア

Andea Oliva

ガブリエレ・ベッティ、クラウディオ・モンタフィア、グラウコ・カ
ンブルサーノ、ジャン・クロード・ジェラルム、サー・ジェームズ・
ゴールウェイに師事。

カラヤン・アカデミー時代の 23 歳のとき、クラウディオ・アバドと
マリス・ヤンソンスの指揮のもと、ベルリン・フィルハーモニー管弦
楽団に首席フルート奏者として招聘。2004 年 ARD ミュンヘン第 3
位、2005 年神戸国際フルートコンクール第 1 位。マーラー室内管弦
楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団とも共演。サンタ・チェチーリア・ア
カデミア管弦楽団とソリストとして共演（ニールセン協奏曲、ダルバ
ヴィ協奏曲イタリア初演）。サンタ・チェチーリア管楽五重奏団、コ
ンセルトヘボウ、サンタ・チェチーリア・カメリスティのメンバーと
しても活動。またソリストおよび指導者として、中国、台湾、日本、
韓国、マレーシア、アメリカ、イギリス、スロヴェニア、ドイツ、イ
タリアの多くのフルート・フェスティバルに招待される。

ダ・ヴィンチ・パブリッシング、ファロー・エディション、アウリク
ス・クラシックス、ARTS、チャント・デ・リノス、VDM、ハイペリ
オン、デッカ、ソニーなどのレーベルから CD を発売。

現在、イタリア・ローマのサンタ・チェチーリア管弦楽団首席フル
ート奏者、スイス・ルガーノ CSI 音楽大学教授、マンチェスター RNCM
フルート客員教授。



ボク メイシァン

朴 美香／中国

PIAO MEIXIANG

中国長白朝鮮族自治州生まれ。1989 年上海音楽学院卒業。同年中国
フィルハーモニー交響楽団に入団。1991 年日本大阪音楽大学に留
学。1995 年東京芸術大学大学院修了。朱同徳（ZHU TONGDE）、劉
品（LIU PIN）、曾根良一、金昌国の各氏に師事。1996 年帰国と共に
上海音楽学院専任講師、上海交響楽団の客員首席奏者となる。中唱
（CRC）、先恒（SMM）などのレコード会社より CD をリリース。上
海音楽出版社（SMPH）より 10 数冊のフルート著書を出版。2010 年
（第 3 回）、2019 年（第 10 回）アジア・フルート連盟（AFF）コング
レスの音楽監督を務める。上海音楽学院大学院教授、中国フルート協
会常任理事、アジア・フルート連盟会長、YAMAHA フルード・アーティ
スト。



フェリックス・レングリ (スイス)

Felix Renggli

バーゼル (スイス) 生まれ。オーレル・ニコレ、ペーター＝ルーカス・グラフに師事。バーゼル音楽アカデミーを卒業後、フリーランスのソロ・フルート奏者として、ルツェルン祝祭管弦楽団、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、ザンクト・ガレン交響楽団、オルケスタ・グルベンキアンリスボン、ヨーロッパ室内管弦楽団、カメラータ・ベルンなどのオーケストラに参加。

ソリストおよび室内楽奏者として頻繁に演奏活動を行うほか、ヨーロッパ、南米、アメリカ、日本、韓国、中国でマスタークラスを開講。国際音楽祭にもゲスト出演している。

1994 年よりバーゼル音楽大学教授 (フルート・室内楽)。2014 年よりルガーノのイタリア音楽院でも教授を務める。2004～2014 年までドイツのフライブルク音楽大学教授。

1999 年よりスイス室内管弦楽団芸術監督。

ハインツ・ホリガー、アルディッティ・カルテット、スイス・チェンバー・ソロイスツ、チェンバー・アカデミー・バーゼル、ヤン・シュルツ、ノヴァ・ストラヴァガンツァ・ケルンなど、数多くのアーティストとレコーディングを行っている。



佐久間 由美子 / 日本

SAKUMA Yumiko

1982 年東京藝術大学附属音楽高校よりパリ国立音楽院入学。1984 満場一致のプルミエ・プリを得て卒業。

バロックトリオ (Trio Forlane) で同音楽院室内楽第 3 課程を修了。宮本明恭、A.マリオン、R.ギオ、C.ラルデの各氏に師事。

83 年ランパル国際コンクール第 1 位、およびジョゼフ・ランパル賞受賞。84 年ボルドー国際フェスティバル金メダル受賞。85 年第 1 回神戸国際フルートコンクール第 2 位入賞。

ソリストとして活動する他、全国各地のオーケストラと数多く共演。室内楽の分野ではフルート音楽の可能性を探る意欲的な活動が高く評価される。

92 年モービル音楽賞奨励賞受賞。

現在国立音楽大学、および大学院客員教授

第 11 回神戸国際フルーツコンクール
開催決定 記者懇談会

【返信先】 神戸市民文化振興財団 事業部
フルーツコンクール事業課 坂本 宛
F A X : 0 7 8 - 3 6 1 - 7 1 8 2
E-mail : kifc@kobe-bunka.jp

≪電話連絡は≫神戸市民文化振興財団 事業部 フルーツコンクール事業課 078-361-7930

【締切日】 2024 年 5 月 30 日 (木)

- 出席いたします。
 不参加ですが、動画収録を希望します。
E-mail アドレス ()

■下記の項目をご記入のうえ返信をお願いいたします

ふりがな	
ご芳名	
会社名 (所属団体)	
部署名 (媒体名)	
連絡先	電話番号
	携帯電話番号 (任意)
	E-mail
備考	≪事務局への質問事項があればご記入ください≫

※会場までのアクセス詳細をご希望の方は個別に連絡いたします。備考に付記ください。